Rotary OSAKA KAMIGATA RC

CLUB WEEKLY No.0062

よいことのために手を取りあおう

2026-27年度 RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ

地域社会の経済発展月間/米山月間

例会日:2026年10月19日(令和8年10月19日)

会長　間嶋伸治

今日の例会

2026年10月19日

- 指名委員会　17：30～
- 進行担当　安田会員
- 今日の歌　「手に手つないで」 久保会員
- 出席・ニコニコ　平松会員
- 卓話　マスード・アファフさん
- IMPR　柏原RC　会長　伊谷　祐一様
  IMRD実行委員長　林　芳繁様

次回の例会

2026年10月26日

- オンライン例会　12：30～
- 進行担当　竹谷会員
- 今日の歌　「四つのテスト」
- 出席　和田会員

ロータリ財団ーセミナー報告

【会長　間嶋伸治】

皆さん、こんにちは。いつもありがとうございます。先日、セミナーに出席してまいりましたので、ご報告いたします。
土曜日にYMCA会議場で開催されましたロータリー財団セミナーに行ってまいりました。13時半から１６時半迄３時間みっちりあり途中テストもございました。セミナーでは、ロータリー財団の補助金の仕組みについて、大変分かりやすく説明していただきました。
財団に集められた資金がどのように運用され、どのような流れで補助金として必要なところへ届けられているのか、理解を深めることができました。溝畑会員は元々ロータリー財団の委員長をされてましたので、そういうことを皆さんにお知らせ頂けたらなと思います。また、2,660地区のホームページにアーカイブが載っていますので是非一度ご覧ください。私たちがロータリー財団に寄付をする意義についても、改めて考える良い機会になったと思います。皆様にも、ぜひご理解を深めていただければと思います。



前回の会長の時間は、これからの大阪上方ロータリークラブがさらに前進していくための、大変有意義な時間となりました。ご縁があって集まった素晴らしい仲間です。このご縁を大切にしながら、皆様と共に力を合わせ、より良いクラブを目指して前進していきたいと思います。

大阪上方ロータリークラブ　創 立:2024 年 7月22日　例会:第1・3 週目は対面・第 4週目はオンライン

会長 :間嶋　伸治
幹事 :中島　勇人
会報資料担当 :青戸　佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪
TEL:06-6773-1111　FAX:06-6773-3322
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12　医療法人翔聖会 気付
TEL:080-2026-1803　Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

幹 事 報 告

【 幹事　中島　勇人 】

① １１月１６日に開催されます「都会」は東大阪西ロータリークラブにジビター出席となります。出欠確認を回覧しておりますのでご記入下さいますようお願いいたします。

② 先日配布いたしました12月11日～12日開催の地区大会につきまして、出欠回答表のご提出をよろしくお願いいたします。

③ 10月29日（木）13：00～15：00に、大手前整肢学園にて全園児を対象とした歯科検診を実施いたします。
当日は、歯科医師の溝畑・古河・宮西・中島・石井・間嶋の各先生に歯科衛生士が同行し、検診を行います。会員の皆様も、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。
なお、当日は 12：30に整肢学園の駐車場にご集合 くださいますようお願いいたします。

米山奨学レクレーション報告

【国際奉仕委員長　溝畑正信】

日本ロータリーの創始者・米山梅吉の生前の功績を称え、後世まで残る有益な事業を行いたい――――。
1952年、東京RC が発表した「米山基金」は、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないため、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。現在では、日本のロータリーが共同で運営する、国内最大級の民間奨学団体となりました。これまで支援した留学生は2万5,496人2026年7月現在）、その出身国は世界136の国と地域に及びます。
当クラブでは、今年度パキスタンからのマスード・アファフさんを受け入れています。



国際奉仕委員会報告

【国際奉仕委員長　溝畑正信】



台北東湖ロータリークラブ2026−27年度 会長 童立姍（Teresa Tung）様から連絡が入りました。

台北東湖RC は当クラブと同じく創立3年目で、グローバル補助金を使って奉仕活動を検討されています。初めてのことであり、当クラブと相談しながら、国際パートナーとして当クラブに支援を求められています。それによると、

「本事業では、台北東湖RCが主たるホストスポンサーとなり、姉妹クラブである大阪上方RCに主たる国際スポンサーをお引き受けいただくことを希望しております。本プロジェクトは、嘉義県阿里山郷のへき地コミュニティにおける歯科医療の不足と予防教育の途絶という課題に対応するものです。台湾歯学生連合会（TDSA）無料診療団と連携して口腔スクリーニング、診療および紹介を行うとともに、必要な移動歯科診療機材を購入します。さらに、衛生教育ボードゲーム「歯の防衛戦」を用いて地元の教員、ボランティア、地域講師を育成し、住民が継続的に自己記録・早期発見・ケアの受診を行えるようにすることで、測定可能かつ地域社会が継続できる疾病予防と治療の成果を達成します。」

当大阪上方RCは現在グローバル補助金事業で、パキスタン・カラチRCが実施国代表提唱クラブ、大阪上方RCが援助国代表提唱クラブとなって、カラチのポリオハイリスク地にある学校にトイレ、手洗い場、下水設置プロジェクトを実施中にあります。これが終了し、最終報告書の提出、承認を得なければ次の事業の申請ができません。また、ポリオ根絶がとうクラブ活動の基本にあります。こういったことを総合的に検討したいと考えます。宜しくお願いします。

ロータリー財団委員長会議報告

【 地区ロータリー財団委員会　和田　悠希子】



R8年10月3日に開催されたロータリー財団セミナーのご報告をさせて頂きます。
ロータリー財団の役割や補助金の活用について、横田ガバナーから大変勉強になるお話がありましたので、お伝えさせて頂きます。
本年度のテーマ、ロータリーモーメントを語ろう。
「ロータリーの活動を通じて感動体験に置き換えて頂いてもよいと思うのですが、このロータリーモーメントの裏には必ず誰かの善意がある。この善意を受けて具体的な方針の形に変えていく。
それを必要とされている方に届けていく。その仕組みがロータリー財団だと思っていただければいいのかな。」と言う風に仰っていました。

活動の方針としましては奉仕をする組織から地域の未来をともに作る組織へ「やった」から「変わった」へ社会奉仕の視点を変える。



社会奉仕でこんなことはありませんか？
「今年も何かやらなければ」
↓
寄贈・イベント・募金等を実施し、無事に終わった。
でも、「地域は本当に変わっただろうか？」
やったではなく、何が変わったか。実施ではなくその後を見る。

奉仕の出発点を変える
「誰が困っているのか」
「何を必要としているのか」
「なぜその課題は解決されていないのか」
「私たちだからこそ何ができるのか」
奉仕の主語を私たちから、地域の当事者が何を必要としているのか、という視点に置き、何かをする事だけを目的とするのではなく「地域に本当に必要とされている活動は何か」を考える。

例えば、毎年恒例だから今年も寄贈しよう、ワクチンのために寄付をしよう、という考え方だけではなく、まずは誰が困っているのか、何を必要としているのか、なぜその課題が解決されていないのか、そして私たちだからこそ何ができるのかを考えることが重要だと教えていただきました。
ロータリーはプロフェッショナルの集まり最大の財産は「お金」ではなく「人」です。
ロータリークラブは、経営者、医師、弁護士、会計士、介護士、建築家、教育関係者、金融、行政・・・様々な業界のプロフェッショナルの集まりです。こういう方々の専門知識、経験、人脈を集結して皆で汗をかけば、クラブの奉仕予算以上の価値というものを地域にお届けできる。
さらに財団補助金というものを使えば、大きなレバレッジとなってさらに大きな価値を持ち社会に生み出せるのではないか、と仰っておりました。
例えば１０万円の奉仕活動。１０万円そのものが生む価値は限られているかもしれません。
しかし、その活動を通じてロータリアンが「こんなニーズが地域にあった」と気づく。
↓
専門家が知恵を出す
↓
人脈・企業・行政・専門機関につながり新しい解決策が生まれる
↓
社会へのインパクトが広がる。だから小さな奉仕にも価値がある

「本日のセミナーを通じて、財団についてもう一度学び直していただいた上で、自分達のクラブならこの財団の力を使って何ができるかということを考えて頂きたいと思います。
私達は財団に寄付するわけではありません、より奉仕をするために財団の力を活用するのです。
その活用した先にまた新しい取り組みと、新しいロータリーモーメントが生まれるのではないかと思います。」
新しい取り込みとして啓示して頂いたこと
①去年までやっていなかったことを一つ始める
②これまで話を聞いたことがなかった人に直接話を聞く
③これまで連携してこなかった団体と協力する
④若い会員にプロジェクトの主導権を任せる
⑤やめる勇気を持つ：役割を終えた継続事業を検証し終了させることも一つの改革
以上が横田ガバナーに教えて頂いた内容です。

続いて、補助金委員会からのクラブへの伝達事項です。
次年度の補助金申請受付がR9年３月１日～４月30日です。
年が明けてから考えていては間に合いませんので、早い段階から活動内容を検討し、この１０月には準備を始める事が大切です。
とのことでした。
今回のセミナーを通じて、ロータリー財団の補助金は、単に資金をいただくための制度ではなく、地域の課題を解決し、より良い未来をつくるために活用するものだと、改めて理解することができました。
次年度に補助金の申請を検討する際には、ぜひ皆さんにもセミナーに参加していただき、理解を深めて頂ければと思います。
報告は以上です。ありがとうございました。

前回ニコニコ箱報告

【 溝畑　洋子会員】

東大阪東RC
藤本　良男様　本日はよろしくお願いいたします
間嶋　伸治様　今月もよろしくお願いします。。
溝畑　正信様　10月に入り、クラブの活動では今年度の活動と、次年度にむけて準備をしましょう。
中島　勇人様　本日もよろしくお願いします。
安田　　剛様　急に涼しくなりました。体調管理をしっかりと頑張りましょう。
道木　憲子様　やっと秋らしくなりましたネ！
道木　良明様
青戸　佳世様　少し秋めいてきましたね。よく寝れます・・・
竹谷　美和様　空き晴れ、気持ちよい日が続きますように!!
和田悠希子様　いつもありがとうございます。
溝畑　洋子様　少し涼しくなりましたが、季節の変わり目。体調に御注意して下さいね！
古河亜紀子様　10月になり年末が近づいてきて焦っております。本日もよろしくお願いいたします。
野村　真希様　本日もよろしくお願い申し上げます。本日も楽しみにしておりました。





